

## Lesson16

## 品詞(まとめ)/暑い日はキンキンに冷えたビールに限る！

Ice-cold beer tastes unbelievably good on an extremely hot day.

今回は品詞のまとめのレッスンです。単語の形が微妙に変化して生まれた単語のグループである派生語、品詞の変化や接尾辞、それぞれの品詞がどの品詞を修飾するのか、文法問題に頻出する前置詞と接続詞などについて紹介します。Ice-cold beer tastes unbelievably good on an extremely hot day. 「暑い日はキンキンに冷えたビールに限る！」という文では多くの異なる品詞が使われています。

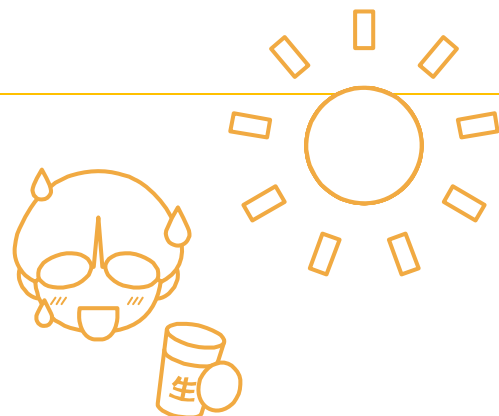
このレッスンを受講することで品詞について理解できます。

## Topics

品詞(まとめ)/ Ice-cold beer tastes unbelievably good on an extremely hot day.

- Topic1** 派生語:語尾から品詞を判断
- 名詞を作る接尾辞
  - 形容詞を作る接尾辞
  - 動詞を作る接尾辞
- Topic2** 品詞の復習
- 名詞
  - 代名詞
  - 形容詞
  - 副詞
  - 動詞・助動詞
- Topic3** その他の品詞 (前置詞、接続詞)
- 注意すべき前置詞と接続詞
- Wrap-up**

DVD 版では練習問題の解説も行います。



Ice-cold beer tastes unbelievably good on an extremely hot day.

## ■ Topic1

### 派生語:語尾から品詞を判断

単語の形が微妙に変化することによりいろいろな**品詞**になります。例えば、**success**「成功」(名詞)に**ful**を付けると**successful**「成功している」(形容詞)になります。また、**successful**に**ly**を付けると**successfully**「うまく、首尾良く」(副詞)になります。このような単語のグループのことを**派生語**と言います。文法問題の選択肢にある単語の**派生語**が並んでいることはよくあります。そのような時、単語の形から**品詞**が分かれば問題を解くためのヒントになります。

単語の**語尾**によりある程度**品詞**が分かります。下に代表的な**接尾辞**を紹介するので、覚えておくと**品詞**がポイントとなる問題を解く際に役に立ちます。ただし、その**語尾**がついているからといって必ずしもその**品詞**になるとは限りませんので、例外に注意してください。

#### ●名詞を作る接尾辞：

**-ance, -ity, -ion, -ment, -ness, -ence など**

例：**importance**「重要性」、**reality**「現実」、**station**「駅」、**development**「発展」、**sickness**「病気」、**absence**「欠席」

#### ●形容詞を作る接尾辞：

**-ful, -able, -al, -ible, -ical, -ish, -ous, -ive など**

例：**beautiful**「美しい」、**capable**「能力のある」、**literal**「文字通りの」、**edible**「食べられる」、**comical**「おかしな」、**selfish**「自分勝手な」、**generous**「気前の良い」、**tentative**「試験的な」

#### ●動詞を作る接尾辞：

**-ate, -en, -fy, -lify, -ize など**

例：**calculate**「計算する」、**deepen**「深くする」、**modify**「変更する」、**simplify**「単純化する」、**realize**「悟る」

## ■ Topic2

### 品詞の復習

それぞれの**品詞**の注意すべきポイントについて整理します。

#### ●名詞

**名詞**には**可算名詞**と**不可算名詞**があります。例えば、**computer**「コンピュータ」は**可算名詞**、**music**「音楽」は**不可算名詞**です。**可算名詞**や**不可算名詞**を文の主語にする場合、基本的に**不可算名詞**は

単数扱いになるので**単数形の動詞**を使います。**可算名詞**の場合は**単数**は**単数形の動詞**、**複数**は**複数形の動詞**を使います。**現在形**の場合は **be 動詞**、**一般動詞**の両方とも**単数**と**複数**では**異なる形**を使います。**過去形**の場合は **be 動詞**のみ**異なる形**を使います。

	現在		過去	
	be 動詞	一般動詞	be 動詞	一般動詞
可算名詞 (単数形)	is	3 人称単数現在形	was	過去形
可算名詞 (複数形)	are	現在形	were	
不可算名詞 (※単数形と同じ扱い)	is	3 人称単数現在形	was	

・現在形・単数：

**be 動詞**： This computer is expensive. 「このパソコンは値段が高いです。」

**一般動詞**： This computer comes with a lot of applications.

「このパソコンには多くのアプリケーションがついてきます。」

**3 人称単数現在形**の **s** がついた形を使います。

・現在形・複数：

**be 動詞**： These computers are expensive. 「これらのパソコンは値段が高いです。」

**一般動詞**： These computers come with a lot of applications.

「これらのパソコンには多くのアプリケーションがついてきます。」

**注意**： **be 動詞**を**過去形**で使う場合は**単数**は **was**、**複数**には **were** を使います。

## ●代名詞

**代名詞**は特定のものを指す時や、文章の中で同じ**名詞**の繰り返しを避ける時に使います。**代名詞**を主語にする場合、名詞と同じように**単数扱い**か**複数扱い**かによって動詞の形を変える必要があります。

This computer cost me \$3,000. It was expensive.

「このパソコンは3,000ドルしました。それは値段が高かったです。」

**this computer** を受ける場合は**3 人称・単数**なので **it** にします。

These computers cost me \$7,000 in total. They were expensive.

「これらのパソコンは合計で7,000ドルしました。それらは値段が高かったです。」

**these computers** を受ける場合は**3 人称・複数**なので **they** を使います。

## ●形容詞

**形容詞**には**限定用法**と**叙述用法**の2つの使い方があります。**形容詞**の中にはどちらか1つの用法しかないものや、用法により意味が異なるものがあるので注意してください。

限定用法 : **This is a beautiful house.** 「これは美しい家です。」

**beautiful** 「美しい」(形容詞)が **house** 「家」(名詞)を修飾しています。

限定用法 : **I would like to have something cold to drink.** 「何か冷たい飲むものが欲しいです。」

**something, someone** など**-thing**や**-one**が**語尾につく名詞**を**修飾**する場合は**形容詞**を**名詞の後ろ**につけます。

叙述用法 : **This house is beautiful.** 「この家はきれいです。」

**SVC 型**の文の**補語**として使う用法を**叙述用法**と言います。

## ●副詞

**副詞**は**形容詞、動詞、副詞、句、文**などを修飾する**品詞**です。**副詞**により使い方が異なる場合もあるので、個別に覚えていく必要があります。

### ・副詞→形容詞

**Matt is an extremely talented artist.** 「マットは非常に才能のある芸術家です。」

**extremely** 「非常に」(副詞)が **talented** 「才能のある」(形容詞)を修飾しています。

### ・副詞→動詞

**The investigator searched the room carefully.**

「その捜査官はその部屋を注意深く調べました。」

**carefully** 「注意深く」(副詞)が **searched** 「調べました」(動詞)を修飾しています。

### ・副詞→文

**Unfortunately, we have no rooms available on the night of June 15.**

「残念ですが、6月15日の夜には空いている部屋はございません。」

**unfortunately** 「残念ながら」(副詞)は文全体を修飾しています。

## ●動詞・助動詞

助動詞の後は動詞の原形を付けます。

**You can stay here.** 「あなたはここに滞在しても良いです。」

The tax investigator may be able to find the other book.

「その税務調査官はもう1つの帳簿を見つけることができるかもしれません。」

## ■ Topic3

### その他の品詞（前置詞、接続詞）

名詞、形容詞、副詞、動詞などの他にも前置詞、接続詞などの品詞があります。ここでは、注意すべき前置詞と接続詞について使い方をいくつか紹介します。

#### ●注意すべき前置詞と接続詞

前置詞 (due to, because of, despite, in spite of) と接続詞 (because, since, although, even though) は意味が似ていて混乱しやすいので、文法問題に頻出するポイントです。これらは整理して覚えておくことが大切です。

前置詞	意味	接続詞	意味
due to	～のおかげで、～のため	because	なぜならば
because of	～のため、～のせいで	since	なので、だから
despite	～にも関わらず	although	けれども
in spite of	～にも関わらず	even though	たとえ～でも

#### ・前置詞 : due to, because of, despite, in spite of

前置詞は名詞や名詞に相当する語（句）の前におきます。「前に置く詞（語）」という意味です。due to, because of, despite, in spite of は意味から考えると接続詞のようにも思えるので、混乱しないよう注意してください。

#### ・ due to ～ 「～のおかげで、～のため」

The event was called off due to heavy snow.

「そのイベントは大雪のためにキャンセルされました。」

due to（前置詞）の後ろには名詞を付けます。

#### ・ because of ～ 「～のため、～のせいで」

Ann became a successful lawyer because of her hard work.

「勤勉だったので、アンは弁護士として成功しました。」

because of（前置詞）の後ろには名詞を付けます。

- ・ **despite** ～ 「～にも関わらず」

**He was appointed as a corporate auditor despite his limited experience in auditing.**

「監査の経験は限られているにも関わらず、彼は監査役に任命されました。」

**despite** (前置詞) の後ろには名詞を付けます。

- ・ **in spite of** ～ 「～にも関わらず」

**They refused to leave their homes in spite of the danger.**

「危険にも関わらず、彼らは家から立ち退くのを拒みました。」

**in spite of** (前置詞) の後ろには名詞を付けます。

- ・ **接続詞** : **because, since, although, even though**

**接続詞**は後ろに**節**(主語＋動詞＋その他の要素)をつけます。文と文をつなぐ働きをします。**because, since, although, even though** は前置詞の **due to, because of, despite, in spite of** と似ていますが、使い方が異なります。

- ・ **because** 「なぜならば」

**I am studying English hard because I want to get a good score on the test.**

「テストで良い点を取りたいので私は一生懸命英語を勉強しています。」

**because** (接続詞) に節が続き理由を説明しています。

- ・ **since** 「～なので、～だから」

**Since we only have limited time, we should focus on important things.**

「時間が限られているので、私達は重要な事に焦点をあてるべきです。」

**since** (接続詞) に節が続き理由を説明しています。

- ・ **although** 「(～である) けれども」

**Although we do not have any open positions at this time, we always accept resumes.**

「当社には現在募集しているポジション(職種)はございませんが、いつでも履歴書を受け付けております。」

**although** (接続詞) に節が続き、譲歩の意味になっています。

・ **even though** 「たとえ～でも」

**Even though you pass the exam, you still need to write a 100-page report.**

「たとえあなたがその試験に合格しても、あなたは 100 ページの報告書を書かなくてはなりません。」

**even though** (接続詞) に節が続き、譲歩の意味になっています。

### スコアアップ！

(DVD 版のみ収録)



例題：There was a lack of \_\_\_\_\_ among members.

- a. communicate
- b. communication
- c. communicative
- d. communicable

**b. communication** が正解。この問題は **a lack of** ～ 「～の不足」の **of** (前置詞) と **among** (前置詞) の間に入れるので **communication** 「連絡、伝達」(名詞) を選ぶという問題です。前置詞の後ろには名詞か名詞に相当する語(句)が入ります。正解以外の選択肢は **a. communicate** 「連絡する」(動詞)、**c. communicative** 「話し好きの、伝達の」(形容詞)、**d. communicable** 「容易に伝達できる、伝染性の」(形容詞) です。前置詞の後ろには名詞に相当する語(句)を入れるので、動詞の原形や形容詞だけを入れることはできません。この問題のように選択肢に派生語が並ぶことはよくあります。そのような時、単語の形から品詞が分かると問題を解く大きなヒントになります。

**There was a lack of communication among members.**

「メンバー間のコミュニケーションが不足していました。」

**音** 読練習で覚えましょう。

**音** それぞれの品詞の修飾関係は例文で覚えておくことをおすすめします。さまざま例文を音読することで、適切な語順を感覚的に身に付けることができます。

例えば、**This is a very beautiful house.** 「これはとても美しい家です。」という文を繰り返し音読して語順に馴染んでおきます。あらためて見てみると、副詞は形容詞を修飾する、形容詞は名詞を修飾する、といった関係になっていることが良く理解できます。

次は、こちらの文を繰り返し音読してみてください。

**We always have to work extremely hard to solve very difficult problems.**

「私達は常にとても難しい問題を解決するためにとても一生懸命働かなくてはなりません。」

馴染んだところで、あらためて修飾関係を確認します。この文には、文を修飾する副詞(**always**)、動詞(**work**)を修飾する副詞(**hard**)とその副詞を修飾する副詞(**extremely**)、名詞(**problems**)を修飾する形容詞(**difficult**)とその形容詞を修飾する副詞(**very**)がついています。

また、実際の会話では、**It was very very very hot, yesterday.** 「昨日はととてもととても暑かった。」などのように **very** を繰り返して使うこともあります。ここでは形容詞(**hot**)を修飾する副詞(**very**)、その副詞を修飾する副詞(**very**)、そのまた副詞を修飾する副詞(**very**)がついているという構成になっています。

**I hope the reading aloud exercise will make it easy for you to remember grammar rules.**

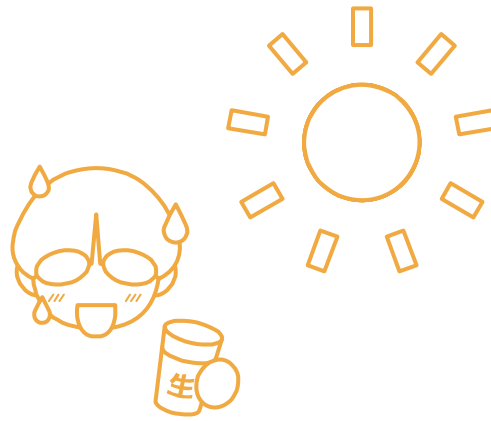
「音読練習が文法のルールを覚えるのを簡単にすると良いなあ～と願っています。」

コーヒープレーク (DVD 版のみ収録)

## Wrap-up

- 文法問題の選択肢に派生語が並ぶことがあります。
- 代表的な接尾辞を覚えておくとう便利です。
- どの品詞がどの品詞を修飾するかという修飾関係を覚えておく必要があります。





**Ice-cold beer tastes unbelievably good  
on an extremely hot day.**  
**「暑い日はキンキンに冷えたビールに限る！」**

主語 形容詞 + 名詞 ice-cold beer 「氷のように冷たいビール」	述語動詞 動詞 tastes 「味がする」	補語 副詞 + 形容詞 unbelievably good 「信じられないほど良い」	追加情報 前置詞句 on an extremely hot day 「すごく暑い日に」
--	--------------------------------	---	--

## Practice

先生の解説を聞き、下記の練習問題を解いてみましょう。(DVD版のみ収録)

1. The price was a \_\_\_\_\_ factor for us.  
a. importance  
b. principal  
c. substantially  
d. signify
2. Auto-Graphic is an \_\_\_\_\_ application.  
a. extremely  
b. useful  
c. extremely useful  
d. useful extremely
3. The room was \_\_\_\_\_ painted.  
a. beauty  
b. beautiful  
c. beautifully  
d. beautify

## Homework

このレッスンに関連した下記の練習問題に挑戦してみましょう。

1. These are the steps to \_\_\_\_\_ this system.  
a. operate  
b. operator  
c. operation  
d. operating
2. Flight 25 from Colorado Springs has been cancelled \_\_\_\_\_ circumstances beyond our control.  
a. because  
b. despite  
c. although  
d. due to
3. Staffers tried \_\_\_\_\_ to achieve the goal.  
a. hardly  
b. very  
c. very hard  
d. very good

## ■ Explanation - Practice

1. The price was a principal factor for us. 「値段は私達にとって重要な要素の1つでした。」

解説 : **b. principal** 「重要な」(形容詞) が答えです。 **factor** 「要素」(名詞) を修飾する形容詞を選びます。もし、選択肢の単語の意味が分からなくても、それぞれの品詞が予想できれば解答を導くこともできます。このレッスンで学習したように、単語の接尾辞をみると、品詞がある程度予想できます。

**a. importance** 「重要性、重大さ」は、**-ance** 語尾なので名詞と判断できます。 **c. substantially** 「大幅に」(副詞) は名詞を修飾することはできません。 **-ly** 語尾なので副詞と判断できます。 **d. signify** 「～を示す、～を意味する」は、**-fy** 語尾なので動詞と判断できます。

2. Auto-Graphic is an extremely useful application.

「オートグラフィックはとても便利なアプリケーションです。」

解説 : **c. extremely useful** 「非常に便利な」(副詞+形容詞) が答えです。 **-ful** が語尾についているので **useful** は形容詞と判断できます。また、前の冠詞 **an** につけることができ、後ろの **application** を修飾できるものを選びます。

**a. extremely** 「非常に」(副詞) は名詞を修飾できません。つまり後ろの **application** を修飾できません。 **b. useful** 「便利な」(形容詞) は名詞を修飾できますが、その場合、前の冠詞は **an** ではなく、**a** になります。 **d. useful extremely** は語順に誤りがあります。

3. The room was beautifully painted. 「その部屋は美しくペンキが塗られていました。」

解説 : **c. beautifully** 「美しく」(副詞) が答えです。このように選択肢に派生語が並ぶことがよくあります。そのような時、接尾辞から品詞が分かると問題を解く大きなヒントになります。受身形の動詞の過去分詞 **painted** を修飾できる品詞、つまり副詞を選ぶ問題です。 **-ly** 語尾は基本的に副詞となることから、**c. beautifully** が解答であると予想できます。

**b. beautiful** 「美しい」(形容詞) は **-ful** 語尾なので形容詞と判断できます。 **b. beautiful** は **was** につなげることができそうですが、**painted** (過去分詞) につなげられません。 **a. beauty** 「美人、美しさ、美」は名詞ですが、**beauty** に **painted** (過去分詞) をつけると「描かれた美」などのような意味になりますが、**the room** 「その部屋」は描かれているものではありませんので、この選択肢は選べません。また、**d. beautify** 「美化する」(動詞の原形) は **-fy** 語尾なので動詞と考えられます。動詞の原形は **be** 動詞に直接つなげられませんし、うしろに過去分詞を置くこともできません。

## ■ Explanation - Homework

1. These are the steps to operate this system.

「これらがこのシステムを操作するためのステップです。」

解説 : **a. operate** 「操作する」(動詞の原形) が答えです。動詞も **-ate** 語尾になることがあります。そこから **operate** は動詞の原形であると予想します。また、不定詞の **to** が付いていることから、下線部には動詞の原形が入ると予想します。

**b. operator** 「操作者、(電話の) 交換手」は名詞です。また、**c. operation** 「作用、影響、事業、作戦」(名詞) については **-ion** 語尾なので名詞と判断できます。これらは、後ろに **this system** (形容詞 + 名詞) を付けることはできません。また、不定詞の **to** につなげられません。**d. operating** に **this system** をつなげることは可能ですが、不定詞の **to** につなげられません。

**2. Flight 25 from Colorado Springs has been cancelled due to circumstances beyond our control.** 「やむを得ない事情により、コロラドスプリングからの 25 便はキャンセルされました。」

解説: **d. due to** 「~のため」(前置詞) が答えになります。後ろに **circumstances beyond our control** は直訳すると「私達の管理を超える状況」という意味から「やむを得ない事情」という意味に使われます。このレッスンで学習したように **due to** は接続詞のような意味にも取られそうな、注意すべき前置詞です。**due to** (前置詞) の後ろには名詞を付けます。空欄の後ろには名詞である **circumstances** が来ていることから、**due to** は適切な解答であるという可能性が見えてきます。

**a. because** 「なぜならば」(接続詞)、**c. although** 「~にも関わらず、けれども」(接続詞) は後ろに節(主語 + 動詞 + その他の要素)をとります。**b. despite** 「~にも関わらず」(前置詞) は構成上は入れることは可能ですが、意味が不自然になります。その結果 **d. due to** が最も適切であると判断できるのです。

**3. Staffers tried very hard to achieve the goal.**

「従業員達はゴール達成のためにとても一生懸命努力しました。」

解説: **c. very hard** 「とても一生懸命」(副詞 + 副詞) が答えです。**tried** (**try**(動詞)の過去形) を修飾できるものは何かと考えます。副詞には動詞を修飾できるものもあります。そこで選択肢から **tried** を修飾できそうな適切な副詞を探します。**c. very hard** が **tried** (動詞の過去形) を修飾するものとして最適です。

**a. hardly** 「ほとんど~ない」も副詞ですが、意味が通りません。**b. very** 「とても」(副詞) では動詞を修飾できません。**d. very good** 「とても良い」(副詞 + 形容詞) の **good** は形容詞です。**good** では動詞の **try** を修飾できません。